様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　6　年　6　月　　7　日

宮崎県知事　　河野 俊嗣　　殿

提出者

住　所　　宮崎県日向市大字日知屋3380番地59

氏　名　　㈱旭道路　代表取締役 木下裕介

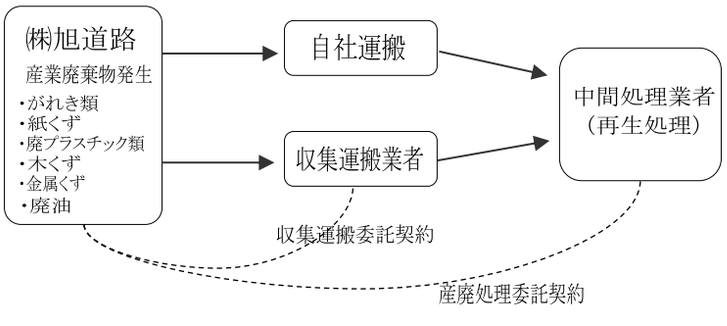
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0982-53-2289

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社　旭道路
事業場の所在地	宮崎県日向市大字日知屋3380番地59
計　画　期　間	令和 6 年　4 月　1 日 ～ 令和　7　年 3 月 31 日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

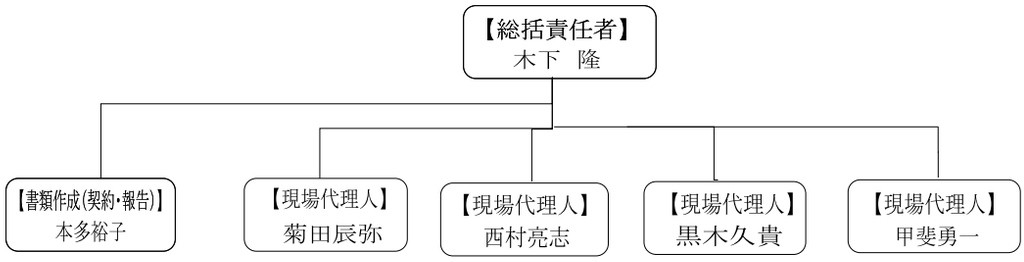
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	令和 5 年分完成工事高　281　百万円
③従業員数	19人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本工業規格　A列４番）

（第２面）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（　　5　年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず 紙くず	ガラス・陶磁器くず 金属くず	混合廃棄物 （安定型）	建設汚泥
排出量	2622.53ｔ	0.28ｔ	4.30ｔ	0.16ｔ	0.46ｔ	0.83ｔ

（これまでに実施した取組）

・計画的な資材購入により残材を削減する。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず 紙くず	ガラス・陶磁器くず 金属くず	混合廃棄物 （安定型）	建設汚泥
排出量	2620.00ｔ	0.25ｔ	4.00ｔ	0.10ｔ	0.40ｔ	0.80ｔ

（今後実施する予定の取組）

・現在の取組みを継続する。

・路上路盤再生工（アスファルト混合物を現位置で路盤材として再利用できる工法）が可能な場合は、発注者へ提案を行う。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・がれき類は、他の産廃と混合しないよう、発生時に直接ﾀﾞﾝﾌﾟへ積込み、そのまま運搬、中間処理業者へ持ち込む。
・その他少量の産廃は、現場内で細分化後、各産廃毎に処理委託する。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・現在の取組を継続する。

（第３面）

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>－　　t</td><td>－　　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
－</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>－　　t</td><td>－　　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
－</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>－　　t</td><td>－　　t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>－　　t</td><td>－　　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
－</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>－　　t</td><td>－　　t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>－　　t</td><td>－　　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
－</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	－	－
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－　t	－　t
	（これまでに実施した取組） －		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	－	－
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－　t	－　t
	（今後実施する予定の取組） －		

①現状

【前年度（　5　年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず 紙くず	ガラス・陶磁器くず 金属くず	混合廃棄物（安定型）	建設汚泥
全処理委託量	2622.53 t	0.28 t	4.30 t	0.16 t	0.46 t	0.83 t
優良認定処理業者への処理委託量	－	－	－	－	－	－
再生利用業者への処理委託量	2622.53 t	0.28 t	4.30 t	0.16 t	0.46 t	0.83 t
認定熱回収業者への処理委託量	－	－	－	－	－	－
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－	－	－	－	－	－

（これまでに実施した取組）

・発生した産業廃棄物の分別を細分化し、中間処理業者が再生資材として受入れ可能な状態にする。（混合廃棄物の削減、再生利用促進）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず	ガラス・陶磁器くず金属くず	混合廃棄物（安定型）	建設汚泥
全処理委託量	2620.00ｔ	0.25ｔ	4.00ｔ	0.10ｔ	0.40ｔ	0.80ｔ
優良認定処理業者への処理委託量	－	－	－	－	－	－
再生利用業者への処理委託量	2620.00ｔ	0.25ｔ	4.00ｔ	0.10ｔ	0.40ｔ	0.80ｔ
認定熱回収業者への処理委託量	－	－	－	－	－	－
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－	－	－	－	－	－

（今後実施する予定の取組）

・現在の取組を継続する。

・優良認定処理業者へ処分・運搬の委託が可能な場合は、優良認定処理業者を優先し委託する。

※事務処理欄